

トピックス **ぶらす**

5/30

県内の青年が集い文化活動を発表

第59回宮城県青年文化祭登米大会（第5回登米市青年文化祭）が5月30日、米山公民館・体育館を会場に開催されました。この大会は、市内青年会メンバーを中心に、昨年12月から準備を進めてきたもので、当日は各青年会による合唱や郷土芸能などの発表のほか、巨大紙相撲大会やはっとの無料試食などが行われ、会場には大勢の人が訪れました。



▲郷土芸能の部で優秀賞を受賞した「佐沼鹿踊り」

6/4

今年も大好評！「登米市の食材」

登米市産の安全・安心な農林産物などを展示即売する「登米おいしいもの市」が6月4日、仙台市勾当台公園で開催されました。会場では、登米産米や新鮮野菜、登米産牛など、数多くの農林産物が販売されたほか、昨年B-1グランプリに出場し今話題の油麩井の紹介や、農産物などが当たる大抽選会も行われ、多くの買物客が訪れていました。



▲登米市の食材を求め、大勢の人でにぎわう勾当台公園

6/8

市立病院の経営形態のあり方をさぐる

市立病院の経営体制について分析や検証を行い、意見を聴取する「市立病院の経営形態のあり方懇話会」が6月8日、ニューグランヴィアで開催されました。懇話会委員には市医師会長や医療機関の関係者など外部の有識者5人が委嘱され、地域医療の確保を目指し、医療提供体制の状況や市病院事業の現状と課題などについて意見が交わされました。



▲望ましい経営形態について、今後も懇話が行われます

6/10

真心を込め育てた花を多くの人に

米山高校園芸ビジネス科の草花を専攻している3年生16人が6月10日、自分たちが育てたガザニア約500本を、平沼沼 youyou館の入り口に植栽しました。この植栽は、ボランティア活動として毎年行っていて、地区の駐在所や道の駅などにも植栽をしています。参加した生徒は「自分たちが育てた花を、大勢に見てもらいたい」と話していました。



▲植栽された花壇は、一面のガザニアに彩られました

創造力あふれる作品が一堂に

県内の高校生が創作した、素晴らしい作品が出展される「高校生絵画展IN登米市2010」が、5月27日から30日までの間、登米祝祭劇場で開催されました。絵画展では、県内9つの高校から応募された創造力に富んだ65点の作品が展示され、来場者は、それぞれの作品に込められた思いを受け止めながら鑑賞していました。5月30日には表彰式が行われ、受賞者に表彰状が授与されました。また、入賞した作品は、6月5・6日に登米総合体育館で開催された「登米市民文化祭・展示発表の部」にも出展されました。



▲各賞に入賞した生徒には、各団体の代表から表彰状が贈られました。

迫力のある演舞で観客を魅了

宮城県北岩手県南地方に長年培われてきた「南部神楽」を伝承している団体が一堂に集い、舞いを披露する「神楽競演大会」が6月6日、石越公民館で開催されました。この大会は、南部神楽を後世に伝承するとともに保存会間の交流を深めるため、毎年開催されていて今年で6回目を迎えました。当日は、宮城県北岩手県南地方の伝承団体9団体が出演し、「屋島合戦」や「鶴越えの逆落とし」など、有名な歴史の一場面を題材にした見事な演舞を披露し、大勢の観客を魅了していました。



▲長下田神楽保存会（石越）による【佐夜の中山霊験記より 初太郎】

殉教者へ思いをしのぼせる

好天に恵まれた6月6日、「東和キリシタンの里まつり」が東和綱木農村公園を会場に開催されました。この祭りはキリシタンの遺跡文化を守り、自然を活用した地域づくりを目的に同実行委員会が毎年開催しているものです。殉教者が眠る三経塚で行われた青空ミサでは、訪れた多くの人が聖書の朗読や讃美歌とともに祈りを捧げ、殉教者の霊を慰めました。また、会場の公園内では田舎料理のコーナーや地場産品の販売が行われたほか、綱木川での魚のつかみ取りも行われ、大勢の子どもたちでにぎわいました。



▲魚のつかみ取りでは、皆びしょ濡れになりながら魚を追いかけました